

広報いまり

No.420



川東保育園で鬼火たき

89

鬼火たきの残り火で焼いた焼きいもをほおばる
園児たち。おいしかったネ！(関連記事12ページ)

2月

〈人口〉 男29,100人 女32,516人 計61,616人 (前月比-3) 〈世帯数〉 17,280世帯 (1月1日現在)

腰岳・森林とのふれあい広場

緑と風と光が



(クラフトセンターの完成予想模型)

大川内山側の腰岳中腹で、「森林とのふれあい広場」の整備が進められています。すでに一部の施設は出来上がっていますが、6月にはクラフトセンターが完成する予定です。

工芸の森やカブト虫の森、林間広場で、木工作業や自然観察、散策などを思い思いに楽しめます。

今月は「森林とのふれあい広場」を案内しましょう。

クラフトセンター 6月完成

昭和62年度から取り組んでいる森林とのふれあい環境整備対策事業の中心的施設ークラフトセンターが、今年の6月に完成する予定です。

クラフトとは、手工芸、民芸という意味ですが、完成するクラフトセンターでは、丸太、木片、竹などを材料に、手づくりや簡単な機械、道具を使って工芸品を作ることができます。

センターは、木造平屋の一部2階建てで、延床面積238.93m²。多目的に使用できる工作室、展示室などがあります。

センターは、子ども会、サー

クル、家族連れなど、だれでも利用ができ、日常生活や学校では体験できない木工作業を楽しんだり、新しい友達との出会いの場となります。

健康の森づくり

森林とのふれあい環境整備対策事業は、豊かな自然に親しみながら心の安らぎを覚えたり、自然の中での体験を通して青少年の健全育成などができる総合



森林とのふれあい広場計画図

さらに私が原典に心をひかれたのは、平和実現のてだてというか、その役割の順序がはっきりしていることと「内平かに」が先で「外成る」とつづき、「地」の平和が先決であることが明示されている。いまの世の中はややもすると「にいたり、「内」と「地」の平和が先決である「外成る」ことにはならない。だからこそ、「内平かに」が先で「外成る」とつづき、「地」の平和が先決であることが明示されている。いまの世の中はややもすれば自分の努力はそのままにして外部の成就だけをあてにしたり、自分のことはいいかげんにして他を責めることに力を入れているが、順序が逆であるから一時は平和が達成されているように見えるが、結局成就するに到らず自分でその責を負わねばならない。

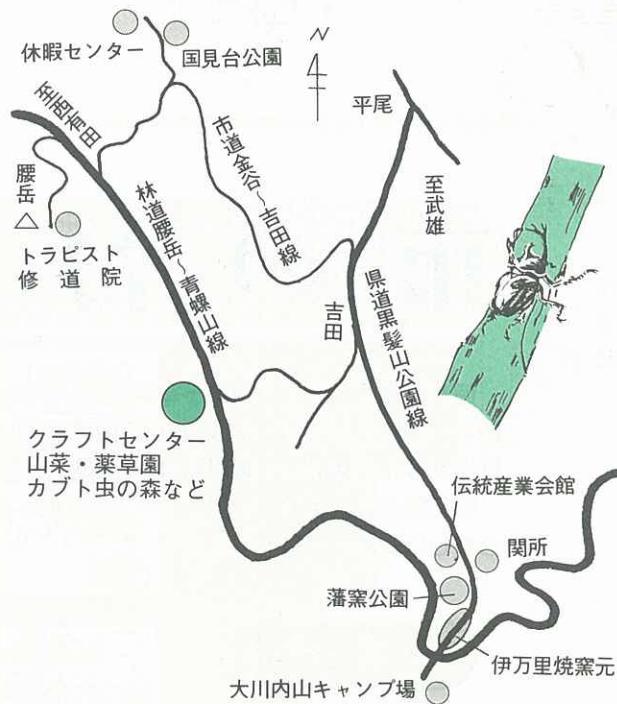
また「内平かに」、「外成る」であって、ここに中国の「霸道」ではなく「王道」の「霸道」でなく「王道」の面白が躍如としている。「書經」も「史記」も中華人民共和国では國を治める人が必ず学ばねばならない書とされたがその歴史をみれば「霸道」は易く、「王道」は難^{むず}きことがわかり、「平成」の時代をつくりあげる使命の尊さとそのむずかしさを痛感する。

(竹内)

いっぱい



●林間歩道は、柔らかな木漏れ日がいっぱい。「気持ちいいワ。木々とお話ししているみたい」と会話がはずみます。



的な森林づくりを行うものです。

昭和62年度から平成2年度まで、総事業費1億円をかけて整備を進めています。すでに各種イベントが開催できる林間広場と約100台が収用できる駐車場を整備しました。

これからは、山菜・薬草園や工芸広場、あづまや、散策道などを順次整備することにしています。

市は、森林とのふれあい環境整備対策事業で整備する11箇所を含めた46箇所を、市民みんなが親しみ、憩える「腰岳健康の森」として位置づけ、62年度には新林業構造改善事業で3,000万円をかけて休憩所やトイレ、給水施設、散策道を整備しました。



●林間歩道を登りつめると休憩所

「平成」とは新聞でも報道されたように中国の古典である史記の中の「内平かに外成る」と、書經の中の「地平かに天成る」を原典としているとのことであった。

「平成」とは音感が極めておだやかで、陳舜臣先生の佐賀新聞でのエッセーによれば「平」も「成」も同じグループの韻に属する字で、抑揚や起伏や変化がなく鏡のような海面を表すとあつたが、そのような世界の平和を希求して名付けられたに違いない。

しかし「内外」は平面であるが「天地」は立体であるから地球上だけの平和ではなく、もっと深く宇宙全体の平和が願われている。

楽しい腰岳周辺

市は、腰岳や大川内山一帯を市民の憩いの場、レクリエーションの場として整備しています。

佐賀厚生年金休暇センター、林道、大川内山などを思い思いのコースで楽しめます。こんなコースはいかがですか。関所がある藩窯公園や伊万里焼の窯元を見て歩き、千本桟の林道をハイキングして森林とのふれあい広場へ。クラフトセンターで手づくりの木工を楽しんでから林道をおりて、休暇センターへ。家族連れやグループのレクリエーションに最適です。一度出かけでみませんか。



市 の 台 所

昭和63年度 上半期の収支状況

昭和63年度の9月末日の予算現額は、一般会計158億6,201万円で、62年度同期と比較すると3億378万円増えています。簡易水道特別会計ほか8特別会計の予算現額は、総額100億33万円です。

昭和63年度上半期（4月1日～9月30日）の予算とその執行のあらましは次のとおりです。

一般会計

歳 入

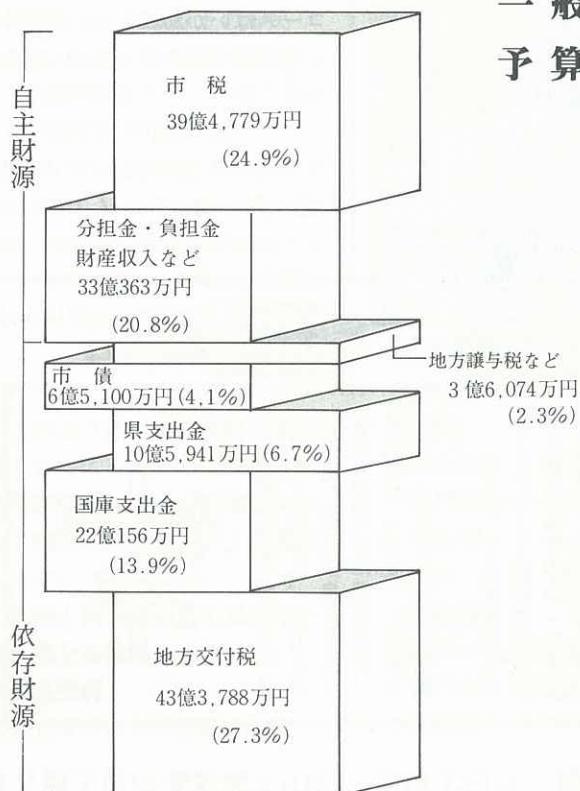
収入済額68億7,417万円

予算現額158億6,201万円のうち、市税などの自主財源は72億5,142万円で構成比45.7%、地

方交付税や国・県支出金などの依存財源が86億1,059万円で構成比54.3%となっています。昨年同期と比較すると自主財源で12%の増となっています。

上半期の収入済額は68億7,417万円で、予算に対し43.3%が収納されています。その主なものは、地方交付税30億1,841万円、国・県支出金8億6,222万円、市税18億8,633万円です。

財源別歳入の割合



一般会計 予算現額

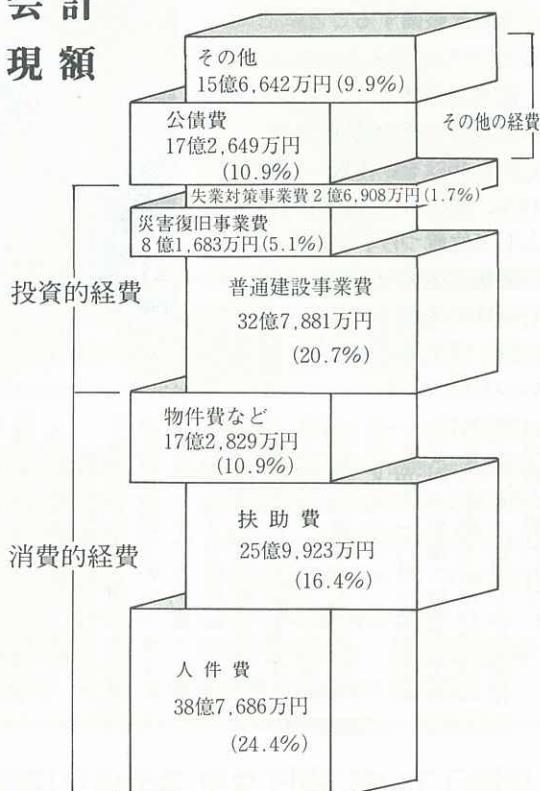
歳 出

支出済額57億2,128万円

予算現額158億6,201万円を性質別にみると、扶助費、人件費などの消費的経費が82億438万円で構成比51.7%、建設事業費などの投資的経費が43億6,472万円で27.5%、起債の元利償還金、諸支出金などその他の経費が32億9,291万円で20.8%となっています。

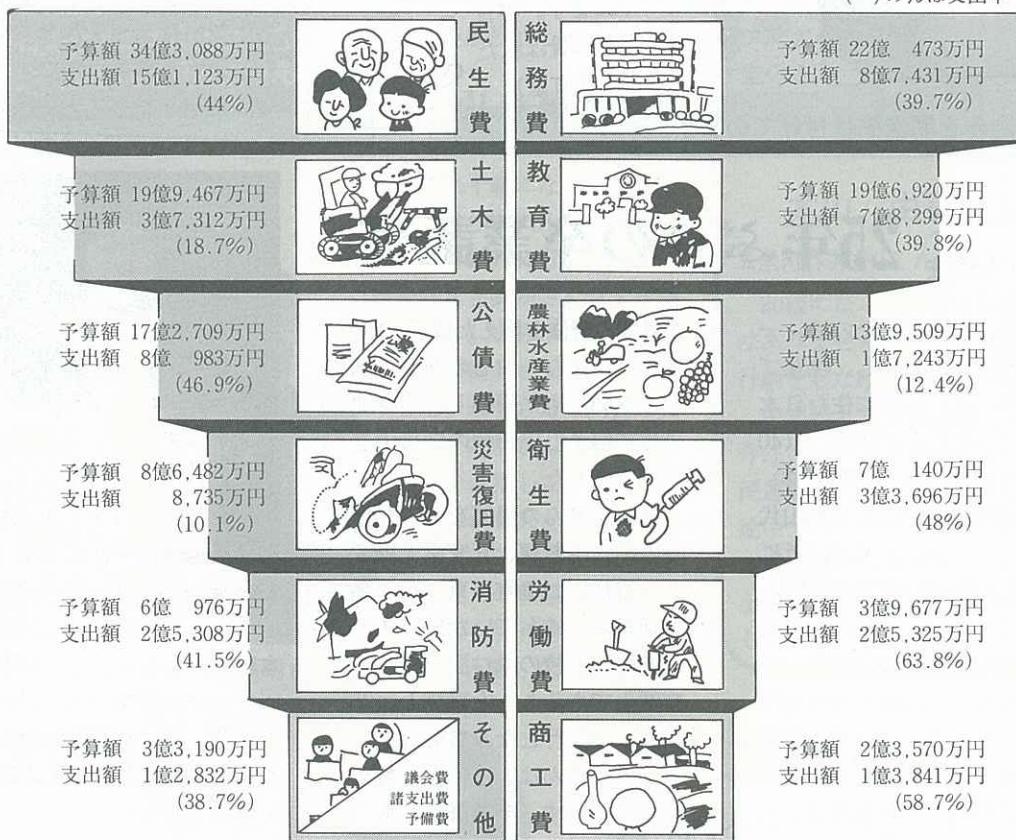
上半期までの支出済額は57億2,128万円で、予算に対し36.1%となっています。

性質別の歳出割合



一般会計予算の使いみち

(…)%は支出率



予算現額 158億6,201万円

支出済額 57億2,128万円

市債の状況

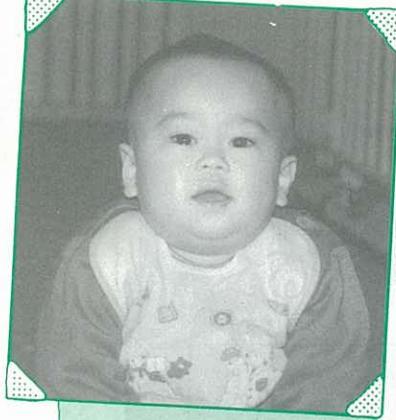
(単位: 万円)

会計名・借入先	62年度末 現在高	63年度中 借入額	63年度中 償還額	現在高 63.9.30
○一般会計	1,154,432	0	44,344	1,110,088
大蔵省	752,680		27,017	725,663
郵政省	203,470		7,205	196,265
佐賀県	57,177		1,120	56,057
銀行	34,336		5,323	29,013
公営企業庫	99,515		3,063	96,452
共済組合等	7,254		616	6,638
○特別会計	469,136	0	1,137	467,999
合計	1,623,568	0	45,481	1,578,087

特別会計

(単位: 万円)

会計名	予算現額	収入済額	支出済額
簡易水道	13,512	6,725	5,901
国民健康保険	334,835	108,920	118,800
市営駐車場	2,603	1,744	555
同和地区住宅新築資金等貸付	811	56	75
立花台地事業	28,374	26,024	1,064
休日急患医療センター	823	176	352
老人保健	360,362	161,568	159,955
公共下水道	171,745	50,389	43,139
土地区画整理	86,968	861	30,630



わが家のPOCOOG
内野 幸貴くん

(1歳)

幸久・節子さんの長男
名前を呼ぶと手を上げて返事
をしたり、イナイ、イナイバー
をして笑わせてくれます。毎日
元気で保育園に通う幸貴は私た
ちの宝です。(東山代町里)

※申し込みを順次受け付けています。



ほほえみ ひろば

この広場はみなさんのページです。
あなたの声をお寄せ下さい。

中学3年で ブラジル移住 25年ぶりの卒業証書

卒業証書を手にしたのは、一家でブラジルに移住し、現在ブラジリア州インクラに住む日本語学校教師の星フジ江さん(40歳、山代町茅野出身、旧姓野林)

昭和38年、フジ江さんが山代中学校3年の時、卒業が間近に迫った2月28日に神戸港を出港。

フジ江さんは、「45日間の航海で、卒業式当日は船の中。卒業証書もなく、心残りで日本をあとにしました」と、当時を振り返ります。昨年9月、中南米日本語教師研修のため来日。3

か月間の研修を終えた12月中旬、楠久津に住む、おじの前島誠さん(53)宅に帰郷し、出身地研修で懐かしい母校の山代中を訪問しました。

フジ江さんの帰郷を知った当時の山代中教頭、菅原元光雄さん(77歳、二里町川東)が「卒業証書は手にしていないはず」と連絡。同校の原口辰巳校長が卒業生であることを確認し、25年ぶりの発行となりました。

フジ江さんは、「何とも言えない気持です。卒業証書がもら

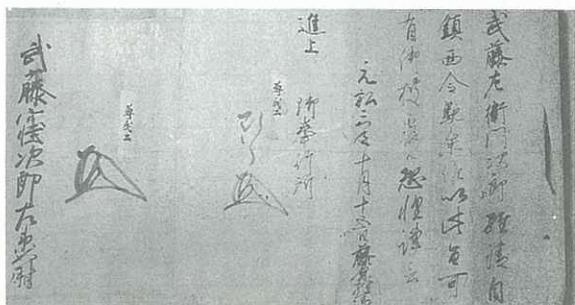


①卒業証書を手にする星さん
えると思っていなかったので、
本当にうれしい」と、感激して
いました。滞在中は、同窓生たち
が開いてくれた歓迎会などであ
るさとを楽しみ、年末に日本を離
れました。

郷土の文化財

〈指定文化財 No.23〉

よこ たけ け もん じょ 横 岳 家 文 書



①元弘3年(1333年)の武藤経清の着到状。
足利尊氏の花押が見られる。

横岳家文書は、山代町久原の川浪正資氏が所蔵されている総数152通の古文書で、南北朝時代から室町時代までのものが大部分を占めています。最も古いものは、元弘3年(1333年)10月の武藤經清着到状。次いで建武3年(1336年)7月の足利尊氏着到状。このほか少式嘉頼判物、大友宗麟義鎮知行預ケ状、龍造寺隆信書状、横岳頼房書状などがあります。

横岳家は、少式頼房を祖とし、旧三根郡(現三根町)を本拠とした家系で、5代家実(鎮貞)のとき鍋島氏の家臣となり、6代家房のとき鍋島元茂に従って小城に移っています。山代郷は旧小城藩領に属していて、江戸後期には川浪家は横岳家と姻戚関係になります。このほか、横岳氏の軍旗や鎮貞が着用したと伝えられる鎧下胴巻や陣羽織などがあります。(市重要文化財、古文書、歴史資料。60.12.1指定)

平成元年の成人式

735人が大人の仲間入り

1月15日、市民会館で成人式が行われました。平成元年に二十歳を迎える人は、全国で187万人。佐賀県で1万1,970人、伊万里市では、昨年より6人多い735人です。

晴れ着姿がいっぱいの会場は、



①姉の山口晴子さんと弟の高明さん

華やかな雰囲気につつまれ、久しぶりの再会に手をとり合ってよろこぶ姿などが見られました。

心を引き締めて

会場で二十歳になったばかりの双子の姉と弟に出会いました。

昭和44年1月12日生まれの山口晴子さんと高明さん（大川内町正力坊）。2分早く生まれた晴子さんが姉。2人とも大学生

で、晴子さんは高校の先生、高明さんはエンジニアを目指しています。性格は、2人ともおっとりしているそうです。

成人の感想を求めたら「心を引き締め頑張ります」と誓ってくれました。



本山 由美さん(20)

二里町作井手(てんびん座、B型)

20歳になって特別な決意とかはありませんが、責任をもった行動をしなければと思います。

中学のときは陸上部でしたが今はスポーツは全然。去年の町民運動会でリレーに出ましたが途中で転んで、雨の日だったので泥だらけになりました。足が上がらなかつたのを雨のせいにしてしまいました。

四季の詩

四月待つ桜の花芽に降る雨は
哀しきまでに小さき音す

五月
土器に神酒飲み回しあ伊勢講

久原 金子千鶴子

脇田町 村田 昭典



はたち 二十歳のころ…

君の行く道は

伊万里労働基準監督署長 片渕千枝子さん(53)

二十歳のころは貧しい学生で、広島市内で寮生活をしていました。寮には、いろいろ決まりがあり、なかでも門限が8時でしたから、日曜日でなければ映画も見に行けないまじめな暮らしでした。でも、勇敢、かつ大胆に門限破りをする人があって、スケートだ、ダンスだ、アルバイトだと生き生き飛び回り、玄関当番の気をもませていました。

寮監のお説教も再三ならずであったその人に、同窓会で數十年ぶりに再会したら、中学校の

先生をしていて、しかも敬けんなクリスチャンになっていたのです。本人も笑っていましたが、当時を知る者たちの驚いたこと。

いま振り返るとわかるのですが、人生には、その後の人生を変えてしまう程の分かれ道が幾つもあります。

もし迷ったら、ほかのだれかのためになく、自分のために最も良い道を選んで、真摯に生きてほしいですね。それが結局は、周りの人をも幸せにする道だと思いますよ。



①ホンモノのえびすさんも応援に

伊万里町内の街角に祭ってあるえびすさんを探す「えびすラリー」が1月15日、本町アーケードを中心に行われ、約500人が参加してラリーを楽しみました。

えびすラリーは、本町名店街協同組合（松尾耕助理事長）が同商店街の活性化を目指して始めたもので、今年で3回目。

親子連れや友達どうしでチームをつくり、地図に記された20基のうち指定された13基のえび



すさんを探し歩くラリーで、制限時間は2時間。地図を広げて相談したり、子どもに手を引かれて急ぐお母さんたちの姿が街のあちこちで見られました。

しあわせは手づくりで

去年の10月、二里町でしあわせ手づくり教室（浦川嘉子級長、24人）が誕生しました。30代、40代の主婦を中心に、これまで身につけたいいろいろな技術や特技を自分ひとりのものとしないで、お互いに教えあったり、習ったりしながら、しあわせを手づくりしていくこうと始められました。

10月、11月はパッチワークでパフクッションかごやバッグを、12月はパンフラワーでぶどうの壁飾りやペンダントなどを作りました。

1月17日に開かれた今年最初の教室では、物を作るだけでなく、基本的なマナーも身につけようと、お抹茶のいただき方を勉強しました。



伊万里焼新春新作展



伊万里陶磁器工業協同組合（瀬戸口真理事長、35社）は、1月9日と10日の2日間、伊万里市農協会館で新春新作展示会を開催しました。

展示会には同組合の24社から花瓶や皿、湯のみなど新作が出品されました。今年の傾向としては、レジャー産業での需要増加やグルメブームによって営業用の食器が多くなってきたとのことでした。特徴としては、本来の伝統を踏まえながら、全体的にカラフルなものが目立っていました。

中尾さん、3年ぶりの優勝

中島 保杯ロードレース

成人の日の1月15日、第24回
中島 保杯ロードレースが行わ
れました。

当日は、気温が低く、時おり
小雨がぱらつくあいにくのコン
ディションでしたが、遠くは山
口、愛知県など県内外から360
人が参加。伊万里駅通り商店街
をスタートし、黒川方面の折り
返しコースに健脚を競いました。

●一般の部(10km) 中尾啓司選手(九州電子金属)が、3連覇
をねらう小西政徳選手(東松マ
ラソンクラブ)を7秒差で押さ
え、50分51秒で3年ぶり2度目
の優勝を果たしました。他の部
の優勝は、次のとおりです。

●ジュニアの部(10km) 福島雄
一郎選手(有田工) 30分25秒=



3年ぶり2度目のテープを
切る中尾啓司選手

大会新

●中学の部(5km) 前田了二選手(川登中) 15分58秒=大会新

●女子の部(3km) 吉田陽子選手(伊万里中) 11分9秒

市少林寺拳法協会

鏡開き式で気持を新たに

伊万里市少林寺拳法協会(桜
木照彦理事長、300人)が主催
する鏡開き式が1月7日、国見
台武道館で行われ、参加した60
人の少年拳士たちが気持を新た
にしました。

協会は、伊万里道院、佐賀山
代道院、大川内支部道場、伊万
里北部支部道場、佐賀二里支部
道場の5つの道院で構成され、
小学生から一般まで約300人が
修業に励んでいます。少林寺拳
法のおかげで子どもたちに礼儀
作法が身につき、何事にも積極

的になったと父母からも喜ばれ
ています。この日は天皇陛下崩
御のため、予定されていた鏡割
りなどは中止されました。



2月のスケジュール

5日(日)

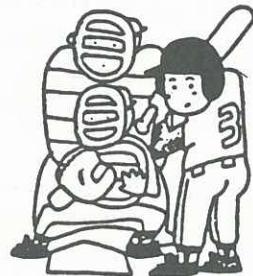
●伊万里町民卓球大会

8時半 国見台体育館

19日(日)

●東山代町民卓球大会

8時半 滝野小学校体育館



野球チームの登録 ソフト

平成元年度の伊万里市軟式野
球連盟と伊万里市ソフトボール
協会に加入されるチームの登録
を受け付けます。

*野球

●申込期限 2月18日(土)

●登録料(年間)

1部 1万円

2部 7,000円

●申込先 市軟式野球連盟事務
局(中島スポーツ)まで

※申込用紙は、事務局にあります。
(☎②1212)

*ソフトボール

●申込期限 2月24日(金)

●登録料 7,000円(年間)

●申し込み 2月22日~24日の
18時~20時に国見台協会事務
局へ(球技場横)

※申込用紙は、各公民館にあり
ます。問い合わせは山下まで

(☎②2346)



< 生徒募集 >



伊商専修科

県立北部職業訓練校(唐津)

伊万里商業高校は、パソコン講座の生徒を募集します。

●週2回(19:00~20:30)で、1年間の履習です。

●募集人員 24人

●願書受付 2月15日~17日

※詳しく述べは、伊万里商業高校へお尋ねください。(☎②5191)

●訓練職種

自動車整備科

○養成訓練課程(新規) 15人

○能力再開発訓練課程 15人

板金科

○能力再開発訓練課程 30人

●期間 各訓練科 1か年

●締切り 2月末日

●資格 年齢、学歴、性別等不問

●選考 3月中旬(予定)

●訓練校 唐津市山本1505
佐賀県立北部高等職業訓練校
(☎②0955②0045)

※詳しいことは、伊万里公共職業安定所まで(☎②2131)

モニター

<募

集>

入居予備者

くらしのモニター

地域の消費者の皆さんと連携した消費者行政や物価対策を進めるため「佐賀県くらしのモニター」を募集しています。モニターの仕事は、毎月の物価調査、消費生活相談の受け付けや取り次ぎ、アンケート調査などです。

●応募資格 20歳以上の市民

●募集人員 6人(県内100人)

●受付期間

●年間謝礼 1万円程度

※詳細は市民相談室(☎②2111内線226)、または県庁県民生活課(☎②0952②7413)まで

県政モニター

佐賀県では、県政に関する建設的な意見、要望などを寄せていただく県政モニターを募集しています。

●募集人員 54人

●任期 2年

●応募資格 20歳以上の県民

●募集期限 2月28日(火)

●申込み方法 はがきに住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号を記入してください。

●申込み・問い合わせ先

佐賀市城内1-1-59 県庁
県政情報室(☎②0952②2974)

平成元年4月1日以降、市営住宅に空家が生じたとき、順次入居していただくための入居予備者を募集します。

▲募集団地

立花、大坪、勝田、大久保、楠久第二、久原、立岩の各団地

▲受付期間

2月20日から3月10日まで

▲選考方法 抽選(3月20日)

※申し込み用紙は、市建設課住宅係(☎②2111内線333)にありますので、早目にお願いします。

国際アマチュア陶芸展 伊万里'89

土の香り漂う焼物の里「伊万里」から広く世界のアマチュア陶芸家に呼びかけ「国際アマチュア陶芸展伊万里'89」を開催します。

情熱と創造性に富んだあなたの作品をお待ちしています。

●作品受付

2月1日から3月26日まで

●賞

鍋島大賞………1人・20万円

優秀賞………2人・5万円

特別賞………3人・3万円

佳作・入選……若干名・記念品

●審査員

13代中里太郎右衛門先生

13代今泉今右衛門先生

●陶芸展

▲会期 4月1日~4月10日まで

▲会場 伊万里・有田焼伝統産業会館

●応募要領 ▲少年の部(小中学生) ▲一般の部(高校生以上)

1人(1グループ) 2点以内

※搬入は直接会場まで

◎問い合わせは、実行委員会事務局伊万里市商工観光課まで

(☎②2111 内線354)

※2月7日は北方領土の日: 2月7日は、1855年(安政元年)伊豆下田において日露通

国民年金保険料は 所得控除されます

国民年金の保険料は、年末調整や確定申告、市県民税の申告の際、社会保険料控除として所得控除の対象になります。

控除の対象となるのは、昭和63年中に納めた保険料です。忘れずに控除の手続きをしてください。63年中の保険料は、次のとおりです。

〈月額〉

○定額	1~3月	7,400円
	4~12月	7,700円

○付加保険料	400円
--------	------

〈年額〉

○定額	91,500円
○定額+付加保険料	96,300円

※保険料納入済証明書は、市民課年金係（☎2111、内線220）で発行しています。

国民金融公庫の 進学融資相談日

国民金融公庫では、高等学校や大学などに進学するための資金を融資しています。普通銀行、信用金庫などの金融機関の窓口でいつでも相談に応じていますが、次のとおり特別相談日を設けましたので、ご利用ください。

●日時 2月14日（火）

10時~15時

●会場 伊万里商工会議所 (商工会館2階)

※詳しいことは、国民金融公庫佐賀支店（☎0952-3341）へお尋ねください。

看護講習会

市母子寡婦福祉連合会では、病人や寝たきりのお年寄りなどの看護のしかたについての講習会を開きます。どなたでも参加できます。

- 日時 2月12日（日）
10~12時（受付けは9時30分）
- 会場 婦人会館（蓮池町）
- 講師 唐津日赤病院
家庭看護教師 下本 和子さん
- 受講料 無料

※詳しいことは、家政婦紹介所（婦人会館内）へお尋ねください。（☎24562）

伊万里の歴史と文化展

市歴史民俗資料館は、商家の器物や珍しいものを展示して「伊万里の歴史と文化展」を2月28日まで開催しています。

〈展示品〉

- 薬屋、酒屋の諸道具、大福帳
- 藩札 ●刀貨（中国） ●はかり ●文房具 ●大昔の伊万里の模型や家型など

特設人権相談所

法務局は、人権擁護の啓発活動の一つとして、特設の人権相談所を開設します。

●日時 2月8日（水）

10時~15時

- 会場 市役所市民相談室
- 相談内容 人権、相続、不動産、借地借家、金銭貸借、家庭など
- 担当 人権擁護委員の川原岩雄さん・早田早苗さん

今月の市民相談

場所：市民相談室 10時~15時

●法 律	2.16（木）
●社会保険	3.10.17（金）
●交通事故	14.28（火）
●行政	15（水）
●人権	8（水）
●身障者	22（水）
●青少年	23（木）
●消費生活	6.13.20.27（月）
●婦人就業	1.8.15.22（水）

2月の市民会館行事

- 5日（日）13時半 500円
新さるかに合戦（23-9391松尾）
- 6日（月）14時と18時半 1,000円
吉本新喜劇（096-381-2783橋本）
- 12日（日）13時半 600円
子ども映画（0992-81-8004）
- 26日（日）9時半 無料
婦人大会（27-1826小島）

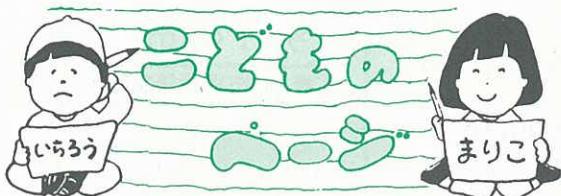


色えんぴつ

中島 保杯ロードレースに、今年も県外からの参加が多かった。その中に、糸島郡前原町の大部さん一家（徹さん、節子さん夫妻と中学生の冬美さん）の姿が見られた。冬美さんは女子の部で7位。節子さんはフルマラソンの経験があり、女性でただ1人10人に出場し、63人中41位と健闘。ご主人も完走された。

「伊万里の街はきれい。観衆や車のマナーが良く、走りやすい。もっとビック大会になれば伊万里のPRになりますね」と話された。来年も参加してほしいが、見どころがたくさんあるので、是非家族で遊びに来て、ゆっくり楽しんでもらいたい。

好条約が調印され、北方領土は日本領と確認された日です。



川東保育園で鬼火たき

天まで上がり 願いごと

改築が進められている川東保育園（福田恒男園長、59人）で1月10日、園児たちが鬼火たきを行いました。

園では、知識として覚えさせるだけでなく、体験を通して四

季の行事を教え、心豊かな子どもに育ってほしいと、毎年いろいろな行事が行われています。

7月には、図鑑を片手に近くのあぜ道から自分たちで摘んできた七草で、七草がゆを作つて

もらいました。

この日隣の田んぼに積んで準備された竹は、火をつけると、あっという間に炎を上げました。鬼火たきの火の勢いで高くまい上がったら願いごとがかなうという言い伝えがあり、園児たちは「絵や計算が上手になりたい」とクレパスで買いた書き初めを火の中に投げ入れ、「天まで上がり、天まで上がり」と声をそろえてお願いしました。このあと残り火でいもを焼き、ほっかほかの焼きいもをおいしそうにほおばりました。



黒川公民館で

書き初め会

1月5日、黒川公民館（小島睦老館長）で恒例の書き初め会となるた会が開かれ、小学生24人が参加しました。

子どもたちは、「山の白雪」や「冬の里」など冬休みの宿題を手本にして、小島館長の指導で筆のぎり方やすすめ方など基本的なことから教えてもらいました。1年生のときから、自分からすすんで毎年参加してい



る子どももいて、1枚1枚ていねいに書き上げました。

このあと子どもたちはおいし

いぜんざいをごちそうになり、百人一首でかるた会を楽しみました。